今週は引き続き研究テーマについて検討しました。「納得」の定義について、わたしは今井ら(2016)の定義が自分の考えと一致していると思っていました。「④価値観」「⑤相対的利益」を理解し「理解の深化」となると考えます。したがって、「④価値観」「⑤相対的利益」は納得状態にある人が理解する対象であるとしました。

音声を聴いて納得しているかどうかを第3者評価し、その音声の韻律情報と納得度の関係を調査するという方法を考えています。音声は対話を収録したコーパスを利用したいと思っています。

そして、何らかの韻律情報と納得との連関を見出すことができたら、別の音声で検証する実験を行いたいです。

参考文献

今井芳枝,雄西智恵美,板東孝枝(2016)「納得の概念分析－国内文献レビュー－」『日本看護研究学会雑誌』39.2,73-85.